2025年度　学校法人滋慶学園　福岡医健・スポーツ専門学校　学校関係者評価委員会（2024年度評価シート）

【2025年5月16日実施】

2024年度　自己点検自己評価（2024年4月1日～2025年3月31日）

学 校 関 係 者 評 価 委 員【 委 員 合 計 １ ４ 名 】

大項目	点検・評価項目	自己評価 適切に対応：4 ほぼ適切に対応：3 やや不適切：2 不適切：1	点検・評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	評　価 適切に対応：4 ほぼ適切に対応：3 やや不適切：2 不適切：1	学校関係者評価委員よりの御意見
1 教育理念・目的・育成人材像	1. 理念・目的・育成人材像は、定められているか 2. 育成人材像は専門分野に関連する業界等のニーズに適合しているか 3. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか 4. 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いている	3	1. 福岡医健・スポーツ専門学校は滋慶学園グループに属し、「職業人教育を通して社会に貢献する」ことをミッションとしている。このことを実践する為に、「実学教育」「人間教育」「国際教育」という3つの建学の理念を基本に教育を実施している。また、その結果として、学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、産業界からの信頼、地域からの信頼という4つの信頼の獲得を目指している。 新型コロナの影響で「国際教育」の一環として実施している海外実学研修を中止していたが、5類移行を機に2023年度より再開した。より多くの学生が参加するよう研修内容の見直しやガイダンス方法を再考している。 2. 教育課程編成委員会を始め、産学連携教育の実践強化、業界のプロである講師、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、就職説明会、教員による実習巡回など様々な機会を捉えて企業・業界から情報を収集し、業界のニーズに適合した人材育成に努めている。しかし、一部学科においては学外実習の機会が十分でないため改善が必要である。 3. 教育理念の達成に向け、教育コンセプトとして「業界と共に業界に必要な即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学連携教育」を開校以来、実践してきた。 具体的には、講師の派遣、学習する題材としての企業課題や企業プロジェクトの提供、機材・機器選定のアドバイス、研修・実習の受入、特別講義の実施など、多岐に渡って協力を頂いている。 また、新入生オリエンテーション、授業、ホームルーム、教科指導、実習指導、生活指導、就職指導などあらゆる機会を通して、3つの教育理念に基づく教育を実践している。	職業人教育は、専門職業教育とキャリア教育から成る。専門職業教育とは、即戦力としての高度な技術・知識の習得であり、キャリア教育とは、プロの職業人として必要な人間力、仕事に対する身構え・気構え・心構えの習得及び職業観・勤労観の確立を言う。 ＜福岡医健・スポーツ専門学校　3つのポリシー＞ （1）アドミッションポリシー（入学者受入方針） ①将来の夢や目標を持っている人。 ②好きな分野を通じて、人に喜びや感動を与えたい人。 ③本校の教育内容や方針を十分に理解している人。 ④「好きなことを仕事にしたい」という気持ちを持っている人。 （2）カリキュラムポリシー（教育編成方針） ①産学連携による実習を重視したカリキュラムやインターンシップ等を提供する。 ②入学者一人ひとりの人間的成長とキャリア設計を支援する。 ③グローバル化の中、国際人教育としての基礎プログラムを提供する。 ④基礎学力の向上を図るプログラムを提供する。 （3）ディプロマポリシー（卒業認定等の方針） ①学内における様々な教育プログラムを通じて社会人基礎力が養われている。 ②職業人・業界人としての人間力と、社会人としての身構え・気構え・心構えを身に付けている。 ③必要とされる技術・知識を身に付け、必要な国家資格等を取得している。 ④他者や異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身に付けている。	3	・一部学科の学外実習の充実が求められる。＜高等学校＞ ・高齢者が増える社会の中で必要と思われる人材の育成に尽力してもらいたい。＜地域＞ ・高校卒業してすぐの学生にとって、まだ将来像もかたまっていない学生も多いと思います。丁寧な説明と細やかな指導をお願する。＜鍼灸＞ ・「産学連携教育」質問です！通常の産学連携教育であれば〔1.共同研究 2.技術移転 3.人材育成〕となりますが、柔整においては〔3.人材育成〕と考えてよいか。＜柔道整復＞ ・教育理念に基づく様々な具体的指導が明確であり、一貫性のある指導が行われている。＜救急救命公務員＞ ・スキルだけでなく、マインドの育成にもつながっていると思われる。＜救急救命公務員＞ ・昨年度病院実習で救急救命士の学生を数名受け入れました。全員が高い志を持って実習されるわけではないと分かってはいるが、あまりにも意識が低い学生だと受け入れる病院側にも大きな負担となる。結果的に、実習期間中厳しい指導を受けたことで、実習が終了する時には来た時と見違えるような成長した姿を見せてくれた。学校にはコミュニティに進むためのプロフェッショナルとしての意識付けやメンタル面を含めた人間教育に力を入れていただきたいと考えている。＜救急救命公務員＞ ・時代の流れに沿って教育を変化させ対応していっており非常に良いと感じた。＜理学療法＞ ・建学理念が、目的・方針にむすびついている。＜薬業＞ ・国際教育についてコロナ以降再開したということだが、コロナなど海外に行けない時や、経済的に行けない人への国際教育が不明。＜薬業＞ ・通常であればこのような学校や学園の理念や教育方針をしっかりと見せていただくことはできないので非常にわかりやすく感激した。＜薬業＞ ・本校が掲げている教育目標と実際の取り組みには整合性があると考える。＜看護＞ ・学園の教育目標や理念と現状がマッチしていると感じた。＜看護＞ ・各学科の実習研修の場をどのように増やしていくのか。＜卒業生＞ ・企業とタッグを組んでいくのか。＜卒業生＞ ・学校イベントとして、カリキュラムとしていくのか。＜卒業生＞ ・動機不順で入学された学生への教育について。例えば、退学防止策などがあるのか。＜卒業生＞ ・円安の影響により海外研修費の負担増はあるのか（入学金の上昇も含めて）。各家庭における賃金上昇は未だ実感も沸かず、物価は高騰する一方の中、負担（研修費等）できないご家庭もあるのではないか。＜作業療法＞ ・福岡医健1期でお世話になった。22年を通して、理念に基づいて学校が向上していかれているのを感じている。子供が今ではお世話になっているので、学校の質の向上をとても感じる。更に向上する事を願っている。＜保護者＞ ・3つの建学、4つの信頼としっかり理念が定められている。＜スポーツ＞ ・産学連携をしっかりしており、様々なイベントにて学生の方が頑張られている。＜スポーツ＞ ・①現場で実際に役立つ教育に積極的に取り組まれている。②目標を明確にしわかりやすいコンセプトとなっている。③海外研修にも取り組まれ、これからの国際人育成にも取り組まれている。以上、評価としては評価項目を適切に実施されていると思う。＜スポマネ＞ ・国際教育事業が2年前から再開されたとのことで、安心した。ただ物価の影響等でコストUPされ腐心されているとのこと。打開策をさらに期待している。産学連携が重要なワードとなり、学校教育をされていることが良く分かる。＜歯科＞
2 学校運営	1. 理念に沿った運営方針を定めているか 2. 理念等を達成する為の事業計画を定めているか 3. 設置法人は組織運営を適切に行っているか 4. 学校運営の為の組織を整備しているか 5. 人事・給与に関する制度を整備しているか 6. 意思決定システムを整備しているか 7. 情報システム化の取組み、業務の効率化を図っているか	4	1. 滋慶学園の理念のもと策定された滋慶学園グループ5カ年計画に基づいて、本校の運営方針を定めている。 2. 滋慶学園グループ第7期5カ年計画を受け、本校の事業計画を定めている。事業計画には、グループ全体の方針や方向性、組織、各部署における目標や取組、業務分掌、各種会議、研修など多岐に渡って明確に示されている。これり基づいて、学科・部署ごとに具体的な業務計画及び実施方法を作成する。 また、広報・教務・就職等各部署単位で具体的な目標設定がなされ、それに沿って各人が目標を設定し実行している。 内容は、事業計画の核を成す組織目的、運営方針、実行方針、実行計画で構成される。事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決済を受けて承認され、全教職員に周知徹底している。 3. 理事会・評議員会は寄附行為に基づき適切な時期に開催され、必要な審議がなされ、適切な手続きを経て適切に組織を運営している。 4. 事務局長会議、教務部長会議、また学校単位では、全体会議、リーダー会議、教務会議、広報会議、学科会議、国試会議、学生満足度向上会議、各種研修・勉強会等を定期的に実施し、全ての教職員が組織の方針や考え方を十分に理解したうえで、同じ目的・目標に向かって協力の下、適切な学校運営の実践とイノベーションに務めている。 5. 滋慶学園グループの人事・給与等を包括的に管理する（株）滋慶サービスの下、適切に運営されている。また、人事・給与に係る制度は、就業規則に明文化され、全教職員に周知・共有されている。 6. 事業計画の組織図には、学校に関わる人材が明記され、自己の組織上の位置づけを誰もが理解できるようになっている。そして、この組織図に基づいて、適切に意思決定がなされている。決定項目によって、事務局長、教務部長、キャリアセンター室長、学科長等への更なる権限委譲を図り、より効率的かつ迅速な意思決定を行っている。 7. 滋慶学園グループには、IT・情報システムに関わるサポート企業として、（株）ブレーンスタッフコンサルタンツと（株）国際教育センターVISTA　ARTSの2社があり、情報のシステム化と効率化を図っている。	2024年度は第7期5か年計画の3年目。 滋慶学園の「人は仕事を通じて成長する」という考えの下、滋慶学園グループの研修、学校の研修、学科・部署単位の研修、現場で行うOJT、個人で取り組む自己啓発等を通して職員の成長を促進し、学校運営力、クラス運営力の向上を図っている。 滋慶学園グループの理念を明文化した「滋慶語録」について、朝礼において当番スタッフが朗読して理念の周知徹底に取り組み、理念に沿った適切な組織運営を図っている。 ＜滋慶学園7つの視点＞ ①攻めと守りの視点 ②グローバルな視点 ③一人ひとりを見てゆく視点 ④企業・業界・社会を見てゆく視点 ⑤事業運営力を持つ視点 ⑥スタッフが成長していく視点 ⑦理念・コンセプト徹底の視点 ＜プラスワン委員会＞ ①学友会委員会　②FD委員会　③安全衛生委員会　④多職種連携委員会　⑤キャリア教育委員会　⑥部活動委員会　⑦DX委員会　⑧ES委員会の8つの委員会を組織し、全教職員がいずれかの委員会に所属し、学校運営・教育活動・学生支援の向上に努めている。今年度の結果を基に、次年度は委員会の改変を予定している。 ＜人事管理・支援制度＞ ①勤怠管理システム（働き方改革） ②滋慶EAP職員サポートセンター ＜2024年度大切にしたこと＞ ①事業運営力（マネジメント力）を高め、事業計画を達成させる ～　強い現場力・量から質へ・新しいビジネス・リカレント教育　他　～ ②コンプライアンス（法令順守） ～　情報公開・ハラスメント・働き方改革・学校教育法改正　他　～ ③DXに注力（広報DX・教務DX・就職DX・運営DX・セキュリティ） ～　IT・DXリテラシー　AI・生成AI　サイバーセキュリティ　他　～	4	・適正な学校運営がなされていると感じた。委員会の改変は急務であり、より機能的な委員会が求められる。＜高等学校＞ ・学園全体で、しっかり運営されていると感じる。＜地域＞ ・学校運営に関しては、外部からは判断し辛い面でもありますが、見える範囲では良好と思う。＜鍼灸＞ ・大きなグループであるが、、理念の実行のために各部門等が組織され、機能していることがうかがえる。＜救急救命公務員＞ ・グループの理念を明文化し、その7つの視点を日々確認し、共有していることは素晴らしく思う。＜理学療法＞ ・学校運営に関しては、特に問題ないかと考えている。一度5カ年計画をご提示していただきたい。＜理学療法＞ ・委員会活動することで、学生への教育の質の向上につながっている。＜薬業＞ ・委員の選出について全員が何かの委員に入るというのは良い方法だと思う。医健スポーツの先生がみなさんステキな先生な理由が学校運営の取り組みにある。＜薬業＞ ・教育成果や学生満足度といった「数値化しにくい部分」の評価をいかに把握し、運営に反映していくかは今後の課題の1つと考える。＜看護＞ ・教職員の質の均一化を図るような取り組みはあるのでしょうか。（例えば、個人の現在の力量を見える化できるような個人別力量表やラダーなど…）＜作業療法＞ ・今から改善しながらの取組みと感じた。今後の学校運営に役立つ事と思う。適切な学校運営の向上に向けて改変されている事を素晴らしく思う。＜保護者＞ ・理念浸透についての評価基準はあるのか。＜卒業生＞ ・「7つの視点」に基づき、教員の皆様は評価されるのか。＜卒業生＞ ・評価制度があまりイメージつかない。＜卒業生＞ ・様々な委員会、会議を行っている。＜スポーツ＞ ・人事・給与に関しては専門グループ会社に任せている。＜スポーツ＞ ・「滋慶語録」にて、職員の方々に対して理念を周知させている。＜スポーツ＞ ・情報システム化は、最先端のAIやPX化をすすめている。＜スポーツ＞ ・①教職員が共通の目的を持てるよう(共通認識できるよう)様々な取り組みをされている。 ・②目標についても単独で作成されるのではなく学園として取り組まれ、意思統一の会議体を設けられている。 ・③学校内の組織としても全教職員に意思伝達できる仕組みになっている。以上、適切に評価できると思う。＜スポマネ＞ ・教職員が共通の理念をもって教育にあたるということはとても重要なポイントであり、それを学校として理解、周知されるしくみをとっているとのことで高評価である。 また就業規則の開示も当然でありますが、きちんと実践されているので教職員にとっては働きやすい環境にあると思う。＜歯科＞ ・プラスワン委員会の意義、またFD委員会とは。＜薬業＞ ⇒＜河口教務部長＞教職員約100名がいる中で委員会を運営することで様々なイベントを円滑に運営できるように、4年前より会を設けている。 学園祭であれば学友会委員会が運営し、FD委員会とはファカルティ・ディベロップメントといって、教育の質の向上に向けた座談会などを実施している。具体的には1年生の担任座談会があり、入学したばかりの1年生の対応に苦慮する場合があるので、10学科の意見を伺うことによって新しい取り組みができたり自学科の教育をブラッシュアップしたりする情報交換の場を設けている。 ・委員の選出方法は。＜薬業＞ ⇒＜河口教務部長＞スタッフ全員が一人1つの委員会に所属している。希望している委員会に属しているスタッフもいれば、学科の割り振りで分かれている場合もある。

3 教育活動	1. 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 2. 学科ごとの修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか 3. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 4. 教育課程について、外部の意見を反映しているか 5. キャリア教育を実施しているか 6. 授業評価を実施しているか 7. 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 8. 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか 9. 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 10. 資格・免許取得の指導体制はあるか	4	1.「職業人教育を通して社会に貢献する」という滋慶学園グループのミッションの下、建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」に基づいて教育課程編成方針・実施方針を定め、DXの導入など業界の変化を考慮した教育を行っている。 2. 学科ごとに教育到達レベルを明確に設定し、それを学生便覧及び教育指導要領に記載するとともに、HPにもアップしている。加えて、すべての科目のシラバスをHPにて公開している。 3. 滋慶学園グループ五カ年計画のもと作成する学校全体の事業計画に基づいて、教務部としての事業計画を立案し、養成目的と到達目標を明確にしている。そして、それに沿った教育課程を編成し、計画的に教育を行っている。また、教育内容の充実を図るため、定期的継続的にカリキュラム改正を行い、適正化を図ると共により良い教育課程編成に努めている。 4. 業界のプロである講師からの情報に加え、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教務スタッフによる実習巡回、教育課程編成委員会等を通して、業界のニーズや変化を的確に捉えるよう努めている。そして、その情報を基に養成目的や教育目標、カリキュラムの改善を行い、イノベーションを図っている。また、次年度は学校全体の同窓会を企画し、意見聴取を図る予定。 5. 技術・知識を身に付ける「専門職業教育」に加え、職業観・勤労観や仕事に対する身構え・気構え・心構えを身に付ける「キャリア教育」を兼ね備えた職業人教育を行っている。具体的には、キャリア教育をすべき9つの能力（主体性・働きかけ力・実行力・課題発見力・計画力・創造力・傾聴力・発信力・チームワーク力）を学科別キャリア教育マップとして作成実践している。このキャリア教育は、授業、実習、就職、イベント、生活指導などあらゆる機会を捉えて実施しており、全体会議、リーダー会議、教務会議、国試対策会議、広報会議、就職会議、その他各種研修を通して更なる充実を図っている。 6. 年2回、学生に授業アンケートを実施し、授業評価を行いながら学生の授業に対する満足度の把握・向上に努めている。加えて、1年生担任座談会などを定期的に開催して、今後も必要な対策を実践していく。 7. 成績評価や進級・卒業認定基準は学則で明確に決められており、それを学生便覧及び教育指導要領に明記して、学生、教職員、講師に周知徹底している。これらを基に成績を評価し、進級判定会議や卒業判定会議を通して、進級・卒業認定を適切に行っている。また、今年度は学生規定及び試験規定を見直し、学生便覧等の改訂を行った。 9. 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけられており、それを学校パンフレット、学生便覧、教育指導要領等に明記し、学生・教職員・講師に周知している。 10. 滋慶学園グループには、国家試験対策を包括的、科学的、システム的に支援する国家試験対策センターがある。加えて、学校独自で補習、個別指導、グループ学習などを実施している。また、学力を可視化することにより客観的な視点を持ち、一人ひとりのレベルに合わせた指導・対策を行っている。更には既卒の国試不合格者に対してもリスタートセンターを設置し、聴講生制度の下、卒業後も国試に合格するまで指導を行っている（学費不要）。	本校では、職業教育のアプローチとして、3つに時期を捉え、入学前のキャリア形成から、在学中のキャリア設計、卒業後のキャリア開発まで学生の育成・成長にフローで関わり、一人ひとりを大切にした教育を行っている。 ①キャリア形成 入学前の時期に、オープンキャンパスやプレカレッジ(入学前授業)を通して、基盤となる勤労観・職業観の形成と確立をする時期。 ②キャリア設計 在学中は、専門職業に就くプロセスの設計と能力の習得をする時期。 ③キャリア開発 卒業後は、卒後教育等を通して、社会・職業人への移行と更なるキャリア開発をする時期。 ＜滋慶学園グループの各種組織・システム＞ ① 滋慶教育科学研究所 ・キャリア教育部会（カウンセラー委員会　進路変更委員会　その他） ・専門教育部会（産学連携委員会　FD委員会　その他） ・国際教育部会 ・教育分科会 ② 滋慶教育科学研究所　国家試験対策センター ・J-web（国家試験対策e-ラーニングシステム）等 ③（株）国際教育社　ILC国際語学センター（外国語教育担当部門） ＜その他の教育＞ ①ITリテラシー教育 インターネットやSNSにおけるトラブルや被害から学生を守るため、毎年継続的にITリテラシー教育を行っている。 ②AzureAI試験 ＜課題に対する改善＞ ・学校教育法の改正に伴い、令和8年度より単位制へ変更となるため、教務会議等で情報共有を密にし改定に向けた準備・対応を行っている。 ・滋慶学園グループで実施するFD研修を始め、学生のアンケート等を通して教員の授業力を把握・評価し、それらをまとめて学会での発表機会を促進する。 ・授業内容や教育方法の改善に関する組織的な取り組みの強化を図るため、FD委員会を通して更なる教育の質の向上を図っている。 ・学校全体講師会を前期開始前に開催し、後期開始前に必要に応じて学科独自の講師会を開催し、情報共有すべき内容の統一化を図っている。 ＜卒業生対象教育制度＞ ①卒業後教育制度 ②聴講生制度 ③卒業生対象国家試験対策リスタートセンター	4	・定期的なカリキュラム改正がなされ、学生一人一人を大切にした教育が展開されていると感じた。授業アンケート、リスタートセンターなど、学生のニーズに対応できている。＜高等学校＞ ・専門的な要素が大きくいろんな人への対応が必要なため、これまでのキャリアとは違うものをしっかり育ててほしい。＜地域＞ ・卒業後離職したり職場環境に悩む方も多くなっている。また知識の習得も難しい事もある。卒業生対象の制度は重要だと感じている。＜鍼灸＞ ・すべてにおいて良く連携が取れていると思う。＜柔道整復＞ ・長年この仕事をしているが、若い新しく入られた方は、技術はある程度あるものの、質の低下が目立つような気がする。 挨拶や基本的な人間力については、学校で教育していただければありがたい。＜柔道整復＞ ・単に資格を取らせるだけでなく、職業に向けた意識と目標を高める教育を実践していることがうかがえる。＜救急救命公務員＞ ・教育カリキュラムに関して、特に問題ないと感じた。一点学生生活と現場(病院やスポーツ現場など)とのギャップを感じる学生が一定数いる様に思う。＜理学療法＞ ・「キャリア教育」を通じて教育されていると思うが、別に時間を設けて授業を行なったり取り組みはされているか。例えば、卒業生の声や実習後のグループワークなど、現場の声を聞いたり実習後の取り組みを強化することは有益と思われる。このことは卒業生の離職防止にもつながると思う。＜理学療法＞ ・キャリア教育をすべき9つの能力の各分類ごとのチェック項目があり、わかりやすかった。＜薬業＞ ・卒業後の教育制度について、同窓会で講師をよんだり、国試が受からるまで学費不要で指導することに対しての学校の考えが、「指導の問題」と自責にとらえている姿勢がすばらしい。資格の学校が資格をとらず社会に出せないという責任感。＜薬業＞ ・これだけしっかりとシステムが構築されているのは、逆に言うと先生方が大変ご苦労なさっているのではと思う。弊社の中でも社員教育を考えた時、キャリア教育や主体性を持たせることが日々課題である。＜薬業＞ ・リスタートセンターの限りないサポートはとても魅力的だが、ある程度の期間の取り決め等検討の余地はありかと。＜看護＞ ・離職率が高いこの時代、学校側のシステムや整備がこんなにも整っているということに驚いた。＜看護＞ ・基準5の学生支援にも繋がるものと思われるが、中途退学者数提言を目指す中で、キャリア形成が重要であると考える。勤労観や職業観を養う上で、貴学院ではどのような取り組みを行っているのか。＜作業療法＞ ・現在は息子と娘が鍼灸科に在籍しているが、実は私も22年前に柔整と鍼灸を卒業している。子どもを出産した後に入学をしたが、福岡医健だからこそ資格を取得し卒業できたと思っている。ここ2～3年で強く感じるのは、「福岡医健が変わった」ということだ。一昔前までは、卒業後に即戦力となる学生が少なかったような感じがしたが、近年は学校の看板を背負って社会に出てくるという意識が根付いているような気がする。 学校にはぜひ、社会に出て困ることのない学生を育ててほしいと願っている。＜保護者＞ ・理念、教育方針等素晴らしく思う。これを現状に全ての先生方が同じ方向で取り組んでいただけると必ず実現されると思う。＜保護者＞ ・卒業生への手厚いご指導がとても良いと思う。学生の質は、先生のお力だと思うので、今後ともよろしくお願いしたい。＜保護者＞ ・資格・免許取得の指導体制に対しての成果、結果の数値を今後見ていきたい。＜卒業生＞ ・制度や体制はできている。＜スポーツ＞ ・国家資格や免許は重要であるので、その対策ができている。＜スポーツ＞ ・インストラクターの先生が、インストラクターの魅力を学生に伝えて欲しい。＜スポーツ＞ ・①充実したスタッフ、充実した設備で学生を職業人教育する学園ミッションとして取り組まれている。②学生(卒業生を含む)に寄り添った教育体制ができている。以上、評価項目は適正に遂行されていると評価します。＜スポマネ＞ ・教育指導要領に基づいて説明されたが、明文化された内容をもとに実践されているのでとても良いと思う。細かな例として、講師の先生方へのお願いや試験規定など時勢に合わせて策定、周知をとられていることでも高評価である。＜歯科＞ ・シラバスの告知はHPのみか。＜柔道整復＞ ⇒＜河口教務部長＞授業の1回目に紙媒体でお渡ししている。学科によっては全て渡すこともある。 ・卒業後の教育制度とは。＜柔道整復＞ ⇒＜河口教務部長＞同窓会を実施している。また、業界のプロの講師をお招きして特別講義を実施し、在学生同様に卒業生へも案内している。 ・その特別講義はマネジメント(経営)の分野はあるか。＜柔道整復＞ ⇒＜河口教務部長＞現在はマネジメントというよりは、技術的なセミナーがメインである。マネジメントで言えば、柔整や鍼灸は卒前教育としてカリキュラムに取り入れている。 ・国試対策リスタートセンターに期限はあるか。＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞期限は設けていない。本人が希望すれば合格するまで続けていただいて問題はない。長期履修制度という本学園独自の制度については、万が一国家試験不合格だった場合、翌年の授業料は頂かず、模擬試験や国試受験料等実費のみご負担頂き、合格するまでサポートする体制を整えている。なお、福岡医健のみならず、姉妹校でもこのサポートを受けることができる。ただ、しっかりと数字にも表れているが、卒業後1年、2年、3年と時間が経つにつれて合格率が下がる傾向にある。 ・教科は選択して受講できるのか、学校が指定しているのか＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞学校側は特に指定しておらず、ご本人がご希望の教科を選択できる。模擬試験の受験のみの方が多くいる。 ・長期履修制度は魅力的だが、期限を設けないもの良し悪しではないか。既卒の方が増えると、現役生に対する教育は手薄にならないか。＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞以前までは卒業延期で不合格のままの方が多くいたが、学費を払っていただいて無資格者を出すというのは、本学園のミッションに反することになるので、現在は原級留置という形を取らせていただいて、卒業までにしっかりと資格を取得していただくような形を取っている。 今はその資格を取りたい、その職種に就きたいという気持ちを育むことも重要だと思う。現役生に対しても、なかなか授業に来ないという学生も少なからずいるので、ITツールやオンデマンドを活用し、学びたいものがいつでもどこでも学べるシステムも随時導入していく。 ・この制度を取り入れて成果はあったのか。＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞柔整に関しては、ここ3年合格率が全国平均を下回り、非常に苦しい数字であったが、昨年度はようやく全国平均を上回ることができた。卒業生に関しては、どうしても毎日登校しているわけでなく、仕事をしている方も多く、こちらがいくらお呼びしても来られなければどうすることもできないので、今後の課題である。
4 教育成果	1. 就職率の向上が図られているか 2. 資格・免許の取得率の向上が図られているか 3. 卒業生の社会的評価を把握しているか	3	1. 就職率　2024年度生（ 2025年4月30日現在実績） 就職希望者：330名　就職者：322名　就職率：97. 6% 就職100%達成予定：2025年5月30日 2-1. 国家試験合格率 受験者　合格者　合格率　全国平均 柔道整復師　66　57　86.4　75.9 はり師　47　41　87.2　89.3 きゅう師　47　41　87.2　89.8 救急救命士　26　26　100　96.7 理学療法士　52　52　100　95.2 作業療法士　17　17　100　92.5 歯科衛生士　24　23　95.8　94.3 看護師　42　40　95.2　95.9 2- 2その他資格 受験者　合格者　合格率　全国平均 健康運動実践指導者　29　25　86.2　60.7 アスレティックトレーナー（筆記試験）　22　5　22.7　非公開 登録販売者　21　12　57.1　46.7 ヘルスケアアドバイザー　17　8　47.1　非公開 3. キャリアセンタースタッフによる企業訪問や教務スタッフによる実習訪問など定期的・継続的に企業・業界を訪問し、卒業生の社会的評価の把握に努めている。また、卒業生に対するアンケート調査等を通して卒業生の実態把握に努めているが、卒業後時間が経過した場合、転職や転居等で連絡がつかず、状況が把握できない卒業生もいるため、次年度は卒業生全体の同窓会を企画し、情報収集及び状況把握に努めたいと考えている。	＜定性目標＞ ①即戦力としての実践力を身に付ける。 ②人間力を身に付ける（仕事に対する身構え・気構え・心構え）。 ③組織の中で力を発揮する為のコミュニケーション能力を身に付ける。 ④プレゼンテーション能力を身に付ける。 ⑤チームとして仕事をする為のチームワークとリーダーシップを身につける。 ⑥職業観・勤労観を確立する。 ＜就職＞ ①就職率100%（3/31）を目標とする。 ②第1専門職（目指す業界でなりたい職種）での就職。 ③ミスマッチによる早期退職の防止。 ※奨学金貸与学生に対しては、余裕をもって返済可能な収入を確保できる就職先の斡旋に努めている。 ＜資格取得＞ ①滋慶学園JESC国家試験対策センターと連携した国家試験対策を実施している。 ②滋慶学園グループにおいて各資格ごとに構成される教育分科会にて、連携を図り、学力分析や必要な対策の提供を行っている。 ③本校独自に国家試験対策会議を実施し、成功事例の共有や適切な対策を行っている。 ④全体的な課題として、成績上位者と下位者の学力の差が大きい傾向にあり、成績下位者の学力を低学年より向上させる学習システムが必要である。また、新入生については、基礎学力が非常に低い、あるいは学習習慣が身についていない学生もいることから、基礎学力の向上の取り組みに加え、生活習慣の改善及び学習習慣の確立に努めている。 ⑤COMGループ校における国家資格系学科でチーム100を立ち上げ、今年度の国家試験合格率が全国平均以下の学科を主に国家試験対策向上支援を実施する。	3	・第一専門職の就職実現と、学び直しの充実を是非お願いしたい。＜高等学校＞ ・試験、資格の合格率が高く、学生の支援がしっかりされていると感じる。さらなる向上に期待したい。＜地域＞ ・国試の合格率にこだわりすぎて、学生の向上心をなくす学校もある。合格ももちろん大切だが、学生の能力にあわせた教育を望む。大変難しいとは思うが、よろしくお願いしたい。＜鍼灸＞ ・卒業生のアンケート等については、SNS等でやる方法も考えてみてはいかがか。＜柔道整復＞ ・卒後のフォロー体制が確立されており、学生や保護者の安心材料となっていると思う。＜救急救命公務員＞ ・ミスマッチによる退職は、企業にとっても大きな問題であり、在学中から十分な教育をお願いしたい。＜救急救命公務員＞ ・就職率も高く、国試合格率も高まっている様で、学校取組みが反映されていると思う。＜理学療法＞ ・登録販売者の合格率が低いが、不合格者で就職して仕事続けることで学校に来られない人に対して通信等のサポートはすばらしい。＜薬業＞ ・今後さらに教育成果を高めていくためには、卒業生の追跡調査や現場からのフィードバックにより系統的に取り入れる体制の強化も重要かと思う。＜看護＞ ・当院の力不足ではあるが、御校からの卒業生の離職は低くない。＜看護＞ ・作業療法科に関して例年平均以上の合格率を成している事実は大変すばらしいことだと思う。＜作業療法＞ ・奨学金貸与学生でなくても、少しでも給与が高い所へ就職したい学生は多いものと思われるが、これについて不公平感を抱く学生はいないのか。＜作業療法＞ ・就職の前に、国家試験への合格が必須なので、先生方が戦力になる為の教育にまで手が回らないように思う。勉強と実際の社会には差があるので、外部の先生の声等を利用されるのも必要ではないかと思う。＜保護者＞ ・臨床研修を受入れている企業を中心に各学校の先生方がヒアリングや企業説明を受ける事を進めたいと思う。＜卒業生＞ ・学校と企業の問題をすり合わせ、改善していかないと学生は守れないのかなと感じている。＜卒業生＞ ・国家試験合格者が向上している。＜スポーツ＞ ・アスレティックトレーナーの合格者をもう少し増やして欲しい。＜スポーツ＞ ・学力の低い学生の対応を。＜スポーツ＞ ・実践で使える人材育成に取り組まれ、国家試験も全国平均を上回る合格率もできていて評価できると思う。ただ現代社会の課題として若年者の早期離職も多く出ているので、サポートできると良いと思う。＜スポマネ＞ ・就職率、国試合格率ともに高いパーセンテージで、教育成果は十分に上がっていると思う。＜歯科＞ ・登録販売者の合格率が低いが、国試系以外も卒業後の取り組みはあるのか。＜薬業＞ ⇒＜河口教務部長＞例年90%近い合格率であったが、昨年度が非常に低い状況であった。国試系以外の学科も、ご本人が希望すれば学校で継続的に支援していくが、薬業科の多くの方がドラッグストアで勤務している状態で、なかなか勤務を続けながら学校に通うというのが難しい状況だ。ただ、状況に応じて通信であるとかオンラインを活用して支援していくことも可能だ。実態としては、ご自身で勉強している方が多いというのが現状だ。 ・卒業生の社会的評価はどのように得ているのか。＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞卒業生の就職先にアンケートを送り、回収している。ただ、返信をいただいた就職先しか情報を得られないのが現状であり、今後の課題でもある。従来、同窓会と懇親会を行っていたが、コロナ禍以降実施できていないので今後は実施して行きたいと考えている。 ・先生方はどの程度企業を把握できているのか。離職につながる施策はどう考えているか＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞業界との接点としては、一昨年度前より柔整科が臨床実習を始めており、整骨院に関しては80社ほどつながりを持っている。難点としましては、臨床実習先が厳しかったり、思ったのと違ったりということを学生が感じてしまうことだ。しかしながら、学生にはいろんな職場があるということを踏まえ、就職指導をしている。

5 学生支援	1. 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか 2. 退学率の低減が図られているか 3. 学生相談に関する体制を整備しているか 4. 留学生に対する相談体制を整備しているか 5. 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 6. 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 7. 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか 8. 課外活動に対する支援体制を整備しているか 9. 保護者との連携体制を構築しているか 10. 卒業生への支援体制を整備しているか 11. 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	1. 就職については就職を専門とするキャリアセンターが担当し、学内で実施する合同企業説明会、就職ガイダンス、就職出陣式などの就職イベントの実施をはじめ、求人獲得、履歴書指導、面接指導、業界情報の収集およびフィードバックなど様々な支援を行っている。また、卒業式までに就職が決まらない場合でも、全員の就職が決まるまで卒業後も支援を続けている。合わせて、卒業後の転職・再就職も支援している。 2. 本校は担任制度を敷いており、担任を中心にポートフォリオや個別面談等を駆使して一人ひとりの学生に対して細やかな支援を行っている。また、退学理由の分析や退学防止対策、成功事例などについて研修や勉強会を随時実施し担任力の向上を図ると共に、滋慶学園グループ独自の支援機関や支援制度を活用して退学率の低減に努めている。また、授業を理解し登校することが苦にならないようにするため「好きなことを仕事にする」を目標に目標達成シートを各学科で作成し取り組むんでいる。退学率は学科によってばらつきがあるため、学生支援会議にてやるべきことの確認やベストプラクティスの水平展開など、学生満足度の向上を図っている。 3. 担任による相談に加え、学生の相談支援機関として滋慶トータルサポートセンター福岡を設置し、常駐のスクールカウンセラー（公認心理師・臨床心理士）がカウンセリングも実施している。さらに本校独自で学内カウンセラーを2名(非常勤)を配置し、より細やかな対応に努めている。この制度をより多くの学生が利用できるよう新入生安全講習会で、動画を使用し周知徹底を図っている。 4. 留学生への支援や相談を包括的に実施する機関として国際交流COMがあり、その下に各地区に留学生担当を設け、担任と連動して支援にあたっている。 5. 経済的支援については、相談窓口として学費担当を設置するほか、学費や奨学金、教育ローン等についてのアドバイスをするファイナンシャルアドバイザー及び奨学金担当者を配置している。また、学費分割納入制度、留年時の学費を免除する長期履修制度など、様々な支援体制を整備している。また、国や県の補助金を積極的に活用して支援をしている。 6. 毎年1回、在校生の健康診断を実施している。また、健康支援として慶生会クリニックがあり、在学中の健康維持支援を行っている。診療科目は、内科、歯科で、治療費の自己負担はなく、薬代も返金される。また、インフルエンザや新型コロナ、ノロウイルスなど、感染予防対策にも取り組んでいる。 7. 6棟645名分の滋慶学園専用寮や学生食堂、駐輪場などを設置し、生活環境支援を行っている。 8. 学生の課外活動であるクラブ活動について、2023年度より福岡県専修学校の大会も再開した。これに伴い、安全衛生委員会で危機管理マニュアルを作成し、部活動におけるけがや熱中症対策に取り組んでいる。 9. 保護者との連携は定期的な成績報告・出席報告・保護者会の実施に加え、学生状況に応じて、担任が常に保護者と情報共有・連携・協力している。また、必要に応じて対面に加え、遠方の方などはZoomを使っての三者面談を行うなど保護者と連携した学生支援にあたっている。 10・11. 卒業生に対する支援としては、定期的・継続的に卒後教育を実施すると共に、次年度は同窓会を実施し情報の共有を図る。 12. 社会環境の変化に応じて、常に学科、コース、教育内容等のイノベーションを図り、社会のニーズを踏まえた教育環境を整えている。	＜求人件数＞ 2024年度　2,486企業 ＜中途退学＞ 2023年度実績　在籍者：1,393名　退学者：105名　退学率：7.5% 2024年度実績　在籍者：1,416名　退学者：105名　退学率：7.4% ①中途退学にいたる主な理由としては、目的意識の喪失、学力不足、精神的要因等であった。 ②学生満足度向上強化学科（1年DO7%or全体5%以上の学科）を指定し中途退学の低減に努めている。 ③学生支援会議やチームO（学生満足度向上委員会）等を活用して、組織的かつシステマティックな対応の強化を図りたい。 ＜2024年度留学生数＞ 　3名（理学療法科1名・作業療法科2名 / 中国2名・マレーシア1名） 滋慶学園グループでは、「学生はゲスト」というコンセプトの下、学生満足の向上のため、様々な支援体制を整備している。 ＜主な支援機関＞ ① 滋慶トータルサポートセンター福岡 　スクールカウンセラー（公認心理士・臨床心理士）によるカウンセリングの実施。 ② 医療法人慶生会　慶生会クリニック（内科・歯科） ③ 慶生鍼灸院 ④ キャリアセンター ⑤ 滋慶学園専用寮（スチューデントハイム・アソシエイト） ⑥ 学生食堂（滋慶レストラン） ⑦ 学費担当・奨学金担当 ⑧ ファイナンシャルアドバイザー ⑨ 進路変更委員会 ⑩ 国際交流COM ＜主な支援制度＞ ① 進路変更制度 ② 長期履修制度 ③ 学費分割納入制度 ④ 滋慶奨学金 ⑤ 担任制度 ⑥ 聴講生制度 ⑦ 卒業後教育制度 ⑧ 既修得単位認定制度 ＜その他＞	3	・卒業後も支援され、一人一人に手厚く支援をできていると感じた。保護者との連携もなされている。＜高等学校＞ ・特になし。退学者が少し気になるが。＜地域＞ ・国試の合格率にこだわりすぎて、学生の向上心をなくす学校もある。合格ももちろん大切だが、学生の能力にあわせた教育を望みます。大変難しいとは思いますが、よろしくお願いしたい。＜鍼灸(4 教育成果と同様内容)＞ ・退学率の改善策を再度検討するべき。＜柔道整復＞ ・中途退学者は、一定数出ることはやむを得ないと思う。何が本人のためになるかをふまえて、フォローすべきではないか。＜救急救命公務員＞ ・様々な支援体制が取られており、大学等より恵まれているのではないか。＜救急救命公務員＞ ・学生支援に関しては十分にサポートできているかと思う。＜理学療法＞ ・学科別の退学率と理由があれば参考になりありがたく思う。＜理学療法＞ ・福岡医健独自のトータルサポートも非常に良い取り組みと感じる。病院でもそうだが、サポートが必要と思われる学生をいかに早期に気づけるかが大事だと思われる。＜理学療法＞ ・魅力ある方針やカリキュラムがあると感じるし、資格取得もできる。＜薬業＞ ・慶生会の内科・歯科で受診すると自己負担と薬局の薬まで無料はいいですね。※薬局はぜひ裕生堂薬局へ！＜薬業＞ ・「学生はゲスト」という言葉に大変驚いた。そして今は必要なんだと感じた。御校のように今の時代に合った取り組みが必要だと思う。せっかく卒業できて、就職してもすぐ辞めるということにならないよう、企業側も大事に育てていく環境をつくっていく。＜薬業＞ ・多角的なサポート体制が整えており、学生ひとりひとりが安心して学べる環境つくりを意識されていると伝わった。＜看護＞ ・学生の夢に耳を傾けるという体制のもと、成長と自立と自律を促す支援が継続発展していくことを望む。＜看護＞ ・入学後のミスマッチ者について早目の引導を渡すことも、その学生にとってもメリットになるのではないか（もちろん退学率の低減を図る努力は行いながらではあるが…）。＜作業療法＞ ・例年奨学金についての問題が出ていると思う。早急にこの問題についても国が整備してくれたらよいが、現実問題、奨学金を借りた状態で就職しても、なかなか簡単には返済できず、余裕がある生活が送れる人はわずかだと思われる。在学中に卒業後の財務設計ができていればいいのかなと思う。＜作業療法＞ ・学科別の退学率はどうなっている。＜保護者＞ ・カウンセラーの利用法。JTSC。＜保護者＞ ・取り組みに対して改善している事をとても素晴らしく思う。学生が社会で活躍できる事を期待する。＜保護者＞ ・求人関係＜卒業生＞ ・教育カリキュラムの見通しが必要なのかどうか。座学と実技、臨床の場での実習のバランスで改善できる点もあると思う。＜卒業生＞ ・退学者減少を望む。＜スポーツ＞ ・学生がJTSC福岡へ気軽に声を出せるように、携帯等での仕組みづくりを。＜スポーツ＞ ・弊社では御校の卒業生がすごく活躍されているという印象である。しかし、ここ近年の就職者数は減っているので、企業としての力不足なのか、そもそも産業自体の魅力が減っているのか健康産業のニーズはあるはずなので、学校と企業が一緒になって取り組んでいきたいと思う。＜スポーツ＞ ・充実したサポートがあるが、その利用率はどのくらいか、エビデンスが欲しい。＜スポマネ＞ ・退学率についても少し気になる。＜スポマネ＞ ・制度としては良いと思う。＜スポマネ＞ ・担任制度を採用しているので、個々の学生へ細やかな対応が可能となっている。＜歯科＞ ・退学率が7%を超えているが、現時勢を踏まえると仕方ない部分もあるのではないかと思う。＜歯科＞ ・慶生会クリニックは無料なのか。＜保護者＞ ⇒＜松原教務事務部長＞基本的な診察代は無料だが、処方されたお薬代は一旦ご自身でご負担いただき、その領収証をクリニックに持参することで返金される。なお、慢性的な持病の治療に関するものであれば実費負担の場合もある。 ・退学率を下げるための施策は？退学率に学科ごとの差はあるのか。＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞本来、退学率だけを見ると自己評価は2としていが、全項目の平均値として示しているので4とさせていただいた。退学の理由は、対人関係の問題、精神疾患、一人暮らしの生活の乱れなど様々で、学科ごとに大きく差があるというわけではない。しかし、心理カウンセラーの先生に相談したり、授業で学習意欲、目的意識を高める工夫をしたり、まだまだ教員にできることは多々あるかと思うので、今後の課題である。
6 教育環境	1. 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか 2. 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施制度を整備しているか 3. 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 4. 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	1. 施設・設備・機器類などについては、設置基準及び関連法規に全て適合しているだけではなく、その目的を達成する為に必要な最新の施設・設備を揃え、常に万全の状態で活用できるよう定期点検・維持管理を行っている。また、より快適な学びの環境を整えるため、教室・実習室・階段等の改修、机・いすの買い替え、PCルームのPCの入れ替え、壁紙の張替えなどを実施した。また、本校舎601教室（アナリスト教室）の改修も行った。 2. 即戦力としての技術・知識・実践力を身に付けさせる為に、多岐に渡る様々な実習先の開拓を常に行い、臨地実習・学外実習・海外研修等の実施体制を整備してる。また、卒業進級研究発表会も全学科参加で実施した。コロナ感染症拡大の影響で中止していた海外実学研修を2023年度より再開し、2024年度はアメリカ・LAに加え、オーストラリア研修も追加実施した。次年度は参加者を増やすべく、研修内容やガイダンス方法の見直しを図る また、それぞれの業界のプロとして、現場経験豊富で高い技能を有した優秀な人材を常に発掘して、講師として就任して頂いている。 3. 防災計画を策定し、それに基づいて防火管理者を始めとして防災組織体制を構築している。また、年2回の避難誘導訓練（春：火災を想定　秋：地震及び津波を想定）を実施すると共に、ゲリラ豪雨や竜巻、地震など異常気象に備えて、学生の危機意識の確立を図って安全確保に努めている。2025年度は、教員のみの避難誘導指導訓練を開催し、防災盤の操作方法など通報時に必要な情報・知識の確認作業及びAED講習やさすまた講習なども実施予定。 4. ガードマンが常駐し、館内警備にあたると共に、安心安全な教育環境を学生に提供するために、自転車安全講習、薬物乱用防止講習、悪徳商法被害防止講習、女性犯罪被害防止講習など様々な安全講習を実施している。 5. 校内の整理・整頓・清掃・整備を徹底し、学生が気持ちよく最善の環境で勉強できるよう、常に万全の体制を整えている。	＜学外実習・インターンシップ＞ 　～業界と共に業界に必要な即戦力の人材を育成する産学連携教育を実施～ ①柔道整復科・鍼灸科・救急救命公務員科・理学療法科・作業療法科・歯科衛生士科・看護科は医療の現場で「臨床実習」を実施している。 ②薬業科は、ドラッグストアで「ドラッグストア実務実習」を行っている。 ③スポーツ科学科・スポーツマネジメントテクノロジー科は、スポーツ、医療、福祉の現場で「業界研修」を実施している。 ＜企業プロジェクト＞ 　～企業より依頼を受け、業界の現場でプロの指導の下実践する～ 　・サニックスワールドラグビーユース交流大会救護活動 　・金鷲旗柔道大会、玉竜旗剣道大会救護活動 　・プロバスケットチーム「ライジングゼファー福岡」試合運営スタッフ 　・福岡マラソン救護活動 　・全国高等学校選抜自転車競技大会救護活動 　・海の中道海浜公園サンシャインプール水中エクササイズ　　その他多数実施 滋慶学園グループには、滋慶教育科学研究所をはじめ、教育環境をサポートする企業が多く存在し、グループ総力を挙げて教育環境の整備にあたっている。 ＜サポート企業・組織の一例＞ ① ジケイ・スペース㈱　（校舎の維持管理、学生寮・滋慶レストランの運営） ③ ㈱ブレーンスタッフコンサルタンツ　（コンピュータシステムの維持管理等） ④ ㈱国際教育センター　VISTA　ARTS　（コンピュータシステムの維持管理等） ⑤ 西部建設㈱　（校舎の維持管理等） ＜その他＞ ① 安全衛生委員会を組織。危機管理対応マニュアル、その他各種安全マニュアルを作成し、万全のリスクヘッジ及びリスクマネジメントに努めている。 ②ガードマンの配置による安全確保 ③緊急時安否確認システムによる学生の安全確認の推進	4	・施設の改修も適切になされている。企業プロジェクトもさらに充実させることを期待している。＜高等学校＞ ・学外実習で多くの学生が参加されることが望ましい。それぞれの現場で生の技術にふれる事が学生の技術向上の一翼になると思う。海外研修もより多くの学生が参加できる様、経済面も考慮してすすめて頂きたい。＜鍼灸＞ ・柔道整復師の救護活動について、今後も福岡県柔道整師会との連携をよろしくお願い致したい。＜柔道整復＞ ・社会人としての基礎を身に付けるために、企業等との関わりやボランティアの参加等は有用であると思う。＜救急救命公務員＞ ・時代にマッチした様々な安全講習を実施しており、卒業後にも繋がる内容で非常にありがたいです。＜理学療法＞ ・企業プロジェクトも非常に良い取り組みで、他の分野も行っていることかと思う。＜理学療法＞ ・スポーツ分野のみでなく、他の取組みも示して頂ければ幸いだ。＜理学療法＞ ・学校生活と実習先の病院間でギャップを感じている学生が一定数いると感じた。病院側もギャップを埋める努力をするが、学校側もカリキュラムや実習前の指導、実習後の共有などをしっかりとしていただくことで、少しでもこれらのギャップを埋めることができ、のちの離職率に繋がっていくのではないかと考える。＜理学療法＞ ・学外実習などでも様々なプラスアルファの経験ができる。社会人になってからも役立つ内容だと思う。＜薬業＞ ・単位に入るような企業プロジェクトができるようにしたい。＜薬業＞ ・学びに集中できる空間が確保されており、良好な環境が整っていると思う。＜看護＞ ・これまで何度もこの校舎に立ち寄らせていただいているが、毎回施設・設備はきれいに新しく感じられ、心地良い。学生にとっては学業に専念できるよき学校であると思う。＜作業＞ ・実習生が増える事で学生が多くの社会を知る事ができると思う。よろしくお願いしたい。＜保護者＞ ・私が柔整3期生、妻が鍼灸2期生の卒業生。現在私どもの整骨院の有資格者3分の1が福岡医健の卒業生である。毎年7～8名を採用させていただいている。昨年度より臨床実習も受け入れることになったが、学生の質が高いと感じた。臨床実習に臨むにあたり、事細かに先生方が指導されているのがわかる。先ほどから退学者の話があったが、これに関しては柔整、鍼灸の業界も学生に寄り添っていかなければならないと感じた。企業から学生へどのように仕事の魅力を伝えられるか、その職業の楽しさ、すばらしさをいかに伝えられるかが大事になってくると思う。＜卒業生＞ ・各学科のニーズを組み取り、企業プロジェクトとして活性できないかと思っている。＜卒業生＞ ・選択制の実習などで学生の望む実習をすることで単位を与えては。＜スポーツ＞ ・大学生のコンプライアンス事件がより出ている処、具体的に取り組みはどのようにされているか。＜スポマネ＞ ・障がい者に対する受入れ状況。エレベーター、バリアフリーの床になっているか、授業等での対応はあるか。＜スポマネ＞ ・様々な形でたくさんの取り組みをしていることが分かった。現役生はもちろんのこと、卒業生までサポートされており大変素晴らしいと感じた。我々ラグビー団体としても、毎年サニックスワールドラグビーユースのメディカルサポートでは積極的にご参加いただき、ご支援いただけることに感謝している。 近年、ボランティアの精神が薄れてきているように感じているが、ボランティアのすばらしさ、喜びもぜひ学校側に伝えていただければ嬉しい。＜スポマネ＞ ・ガードマンが常駐し、安全講習の開催も実践している。間バイトや不同意性交渉など、最近の時勢に沿った内容も追加されているとのことでとても良いと思う。＜歯科＞ ・サニックスや金鷲旗などの学外実習は単位に含まれるのか。＜柔道整復＞ ⇒＜河口教務部長＞これらの学外実習は必修ではなく任意のため、すべてが単位に含まれるというわけではない。今後、教育課程編成委員会のご意見をいただきながら、必要に応じて入れていく可能性もある。 ・単位として認められない理由は時間なのか人数の問題なのか。＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞学校の基本的な考えとしまして、卒前教育として学ぶべきものは単位として含めてカリキュラムを組んでいるが、＋αのものについては含んでいない。理学療法科で言えばスポーツ系希望なのか高齢者施設系希望なのか、学科の考え方にもよる。 ⇒＜土本事務局長＞実習時間の確保にも関わってきて、実習は30時間若しくは40時間で1単位として認定できるが、単発のイベントだと1単位として認定するために必要な時間数を確保できないということも理由の一つ。複数のイベントを合算すると単位として認定することが可能になるかもしれない。〞

7 学生の募集と受け入れ	1. 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 2. 学生募集を適切かつ効果的に行っているか 3. 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 4. 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか 5. 経費内容に対し、学納金を算定しているか 6. 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか	4	1. 高等学校等への情報提供窓口として専任の担当者を設けている。また、定期的・継続的に高校訪問を実施しているほか、各種媒体、入学案内パンフレット、各種ガイダンス、オープンキャンパス、ホームページや各種SNSなどを活用して、適宜適切に正しい情報をの提供に努めている。 2. 本校は、福岡県専修学校各種学校協会に加盟し、高等学校と同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。 また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学生募集を行うように配慮すると共に、広告倫理委員会を設置し、適切に広報活動が行われているかをチェックしている。 3. 入学資格、出願方法、選考日程、選抜科目等の入学選考基準を学生募集要項に明示するとともにホームページにもアップしている。これに基づいて入学選考を行い、「入学選考会議」により合否を決定している。なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接」及び「作文」「調査書」による書類選考であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりしているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラム及びカリキュラムにおいて実現可能かを確認するものである。ただし、看護科に於いては、それらに加え一般選抜（専願・併願）は「現代文」の筆記試験を行なっている。 4. 入学選考に伴う面接や高等学校調査書において収集した情報等を活用し、授業改善に努めている。また、高校生の動向を探るために専門業者と連携し、各学科の人気度の把握に努めている。グループ全体で行うアンケート調査に加え、本校独自にGoogleフォームでアンケート調査を行い、授業開始時期に間に合うスケジュールで入学者の傾向把握を行っている。 5. 学校納付金については、事業計画に基づいて経費内容を十分に吟味・考慮の上、適正に設定されている。 6. 入学辞退者の授業料等については、3月31日までに入学辞退の申し出があった場合は、入学金を除き学費等を全て返還している。しかし、4月1日以降は、最高裁の判例に基づき、海外研修積立金などの預り金以外は、返金できない。また、このことは、学生募集要項に於いて、「学費一覧」ページに明記している。	本校の広報活動は、入学前のキャリア形成の時期と捉え、オープンキャンパスを通して、自己発見をすると共に、基盤となる職業観・勤労観を確立してもらうことを目的としている。よって、入学前に職業イメージをどれだけ明確に持っているかが大切と考え、オープンキャンパスや説明会への複数回の参加を促し、本校及び目指す業界・職業を充分理解し、疑問を解消した上で出願してもらうことを心がけている。 そのためにも、高校や会場で行われるガイダンスに加え、ホームページを中心に様々なSNSを有効に活用して、入学希望者が求める情報を適時適切に提供するよう努めている。 また、救急救命公務員科については、業界ニーズ及び入学希望者の状況を考慮して、2024年度入学生より定員を35名から40名に増員した。 ＜2025年度新入生＞ 学科　新入生　定員　充足率 柔道整復科　73名　90名　81.1% 鍼灸科　67名　60名　111.7% 救急救命公務員科　44名　40名　110% 理学療法科　87名　80名　108.8% 作業療法科　24名　40名　60.0% 薬業科　12名　40名　30.0% 歯科衛生士科　42名　40名　105% 看護科　26名　40名　65.0% スポーツ科学科　84名　80名　120.0% スポーツマネジメントテクノロジー科　16名　20名　80.0% 合計　475名　530名　89.6% ※2024年度新入生入学実績：490名 昨年の定員充足率92.5%から若干低下しており、学科によって定員充足率にばらつきがあるため、定員充足率を高めるための更なる取り組みを行う必要がある。特に、看護科・作業療法科・薬業科は定員の充足率が低い状況である。看護科については、大学を始め養成校が増えたため志願者が分散している傾向にある。本校の強みをしっかり訴求して入学者の確保を目指したい。作業療法科と薬業科については、それぞれの職業に対する高校生の認知度が低いことが大きな要因と考えられる。作業療法士は業界からの人材ニーズは高いだけに、募集活動の強化を図りたい。薬業科については、2026年度より募集を停止する。また、スポーツマネジメントテクノロジー科については、学科新設から3年が経過して学科の認知度が徐々に高まり2025年度の新入生も順調に伸びている。来年度は定員である20名の入学を目指したい。	4	・社会のニーズにあわせ、定員の見直しも必要になると思う。＜高等学校＞ ・学科については社会情勢の変化等でどの様な仕事につきたいかが変わってくるので、学科の廃止、新設はよく検討する必要がある。すでに専門学校自体が廃校しているところもある。＜鍼灸＞ ・「ホームページを中心に様々なSNSを有効に活用して、入学希望者が求める情報を適時適切に提供するよう努めている。」☆大事だと思います。＜柔道整復＞ ・過大な広告や勧誘等はなく、適切に募集されていると思う。＜救急救命公務員＞ ・作業療法科と薬業科に対して、「募集活動の強化を図る」とありますが、その取り組み(予定も踏まえて)を示して頂き、次年度その結果と課題を提示頂ければ幸いである。どちらも現場のニーズは非常に高いので、良い取り組みと思う。＜理学療法＞ ・薬業科の人気がないのは、業界でも魅力を発信していけるようにしていく。＜薬業＞ ・SNSも拝見した。学生の楽しそうな姿もあり入学希望も増えそうに思う。＜薬業＞ ・薬業科が次年度より募集停止となり大変残念だが、我々の仕事の魅力をもっと伝えていかなければならないと改めて感じた。＜薬業＞ ・単なる募集活動にとどまらず「なぜこの学校を選ぶのか」「入学後どのように成長できるか」をしっかり伝えられる魅力作りと発信力が重要になるかと考える。＜看護＞ ・作業療法科については例年充足率は低いままなのが気になった。高校生の認知度上昇のために、取り組まれていることはあるか。（もちろん私ども現職者も後輩育成や認知度を上げる努力が必要だが）＜作業療法＞ ・高校生が進路を迷った時に、学校の先生から、仕事！とは、どんな仕事をしたいかもわからない年齢で、その学生の可能性を考えて専門性のある学校の案内を下さっていると医健の良い評価を何度か聞いている。学校の都合を伝える事なく、その生徒さんに向き合って下さっている事を耳にしている。＜保護者＞ ・取り組み施策が今後どのように行い、達成率を100%にしていくのか。＜卒業生＞ ・医健の強みは何なのか。＜卒業生＞ ・ホームページはとても良いと思われますが、強みはわからない。＜卒業生＞ ・CMやインターネットでも募集されている。＜スポーツ＞ ・スポーツ科学科に関して全国的に有名である。＜スポーツ＞ ・卒業生で弊社でも活躍している。＜スポーツ＞ ・全国的に学生の確保が難しい時代になっている。学校の認知度を上げるには成果の告知、学校を知ってもらう、魅力度の向上が必要。それと学費も学生の判断材料になるので検討も必要か努力もされていると思うが、検討が必要な時期かもしれない。＜スポマネ＞ ・18歳人口が減少する中で苦戦を強いられている様子だが、ある程度仕方ない部分もあるかと思う。オープンキャンパスを多く開催されているが、その積み重ねしかないようにも思う。薬業科の廃止は残念だ。＜歯科＞
8 財務	1. 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 2. 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか 3. 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 4. 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか 5. 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか 6. 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	1. 毎年5ヵ年の事業計画を作成し、中長期の視点で5ヵ年の収支予算を立てており、財務基盤は安定している。 2. 5ヵ年計画及び単年度事業計画に基づいて、滋慶学園本部、法人本部、学校がそれぞれの立場から財務分析を行っている。 3. 5ヵ年の予算は、中長期を見越した新学科構想、施設・設備構想、人員構想等を考慮して支出を計画し、将来の学生数等を鑑みながら収入を予測し、収支計画を作成している。 4. 適切かつ適正な予算管理を行うため、費用対効果を充分に考慮した効率的な予算執行を行うと共に、予算の執行・消化状況を毎月チェック・管理している。また、一旦作成した予算であっても現実と乖離した場合は、当初予算を修正する必要がある。その為、短期予算においては、半期が終了した段階で修正予算を組み、中長期予算においては、毎年編成をしなおす。 5. 学園本部の機能として二重チェックの体制となっており、学校の財務体制をしっかりと管理し、健全な学校運営が出来ている。 また収入と支出のバランスは、理事会で毎年確認されている。 さらに、監査は私立学校法上義務付けられている「監事監査」のほか、「公認会計士による監査」も受けている。 6. 私立学校法に基づいて、ホームページで財務情報を公開している。現在は、2023年度財務情報を記載しているが、決算理事会終了後の2025年6月末を目途に、2024年度財務情報に更新予定。	本校が属する学校法人滋慶学園の財務情報公開に関しては、 下記の通りとなっている。 ＜組織体制＞ 1. 法人統括責任者 2. 学校統括責任者 3. 学校事務担当者 ＜公開資料＞ 1. 財産目録 2. 貸借対照表 3. 資金収支計算書	4	・引き続き、安定した財務基盤により、教育の充実を図っていただきたい。＜高等学校＞ ・学園全体で良好な運営をされていると感じる。＜地域＞ ・特になしですが、今後の基盤を安定させる為、新入生入学実績を上げるよう努めていただきたい。＜柔道整復＞ ・特に問題点等はない。＜救急救命公務員＞ ・内容・取り組み等含めて問題なし。＜理学療法＞ ・教育成果と財政投入の関連性を検討し費用対効果の視点をもって経営資源の最適を図っていくことが、今後重要だと思う。＜看護＞ ・収支について、収入が増えているのは学校数や学校がどうだったかは不明。収支差額が収入は増えたのに利益が半分くらいなっていたのが気になる。＜薬業＞ ・研究費が5年前の2倍。専門職大学ができて増えた。＜薬業＞ ・流動比率が120%くらいなので低い。150%以下なので少し支払い能力が不安。＜薬業＞ ・財務情報は公開されている点、監査も通過している時点で手前どもから意見することは特にない。＜作業療法＞ ・滋慶学園として、しっかりと情報公開している。＜スポーツ＞ ・特にありません。＜スポマネ＞ ・財務状況はホームページに開示されているとのこと。また健全経営とのことで、とても良いと思う。＜歯科＞ ・研究費がおよそ倍になっている理由は何か。＜薬業＞ ⇒＜土本事務局長＞福岡医健だけだとこの数字にはならないが、2024年度からスタートした西葛西にある専門職大学に研究費がかかっているという状況である。〃

9 法令等の遵守	1. 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか 2. 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか 3. 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 4. 自己評価結果を公表しているか 5. 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 6. 学校関係者評価結果を公表しているか 7. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	1. 法令や設置基準の遵守に対する方針は、滋慶学園グループとして明文化され、法令遵守に対応する体制は整備できている。また、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めると共に、現場に於いては、コンプライアンスの遵守はもとよりガバナンスを十分に利かせた学校運営を行っている。そして、学校運営が適切かどうかは、次の各調査等を通してチェックし、法人理事会のもとにコンプライアンス委員会が判断している。 ①学校法人調査 ②自己点検・自己評価 ③学校基本調査 ④専修学校各種学校調査 ⑤学校施設認定規則に基づく報告 2. 資料請求者、在校生、卒業生、教職員、講師、実習先など学校が保有する個人情報は、個人情報保護法に基づいて、厳格に管理・保護されている。 また、学生の個人情報を取得・提供する場合は、滋慶学園グループ統一の「学生の個人情報の取り扱いについて（ガイドライン）」の内容に沿って、本校が学生の個人情報を取得すること及び学生の個人情報を提供することに同意する「個人情報の取り扱いに関する同意書」を学生と取り交わして、適切に運用している。更に、学生・教職員・講師は毎年ITリテラシーテストを受けて、個人情報保護及びインターネットやSNSでのトラブルに係る知識の充実を図っている。 3・4. 毎年、自己評価・自己点検を実施し、その結果をホームページ等で公開している。 5・6. 学校評価規定に基づき学校関係者評価委員会を組織し、自己評価・自己点検を基に外部委員による学校関係者評価を行い、その結果をホームページ等で公開している。 7. 情報公開規定に基づき、あらゆる教育情報をホームページ、各種SNS、学校パンフレット、オープンキャンパスなど様々な方法で随時公開している。	＜法令順守に係る組織体制・システム＞ (A)組織体制 ①財務情報公開体制（学校法人） ②個人情報管理体制（滋慶学園グループ） ③広告倫理委員会（滋慶学園グループ） (B)システム（管理システム） ①個人情報管理システム（滋慶学園グループ） ②建物安全管理システム（滋慶学園グループ） ③防災管理システム（滋慶学園グループ） ④部品購入棚卸システム（滋慶学園グループ） ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ) 学内にコンプライアンス委員会を設置し、厳格なコンプライアンスの遵守に努めている。委員長は、統括責任者である法人の運営部長が就任し、委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長等で構成される。 主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のための啓蒙活動の推進である。 監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。 ＜学校関係者評価委員会の構成＞ 本校10学科に係る業界関係組織の役職者10名 卒業生代表・保護者代表・高校代表・地域代表　各1名　　合計14名	4	・法令等に基づき、適正な学校運営がなされていると感じた。＜高等学校＞ ・現在は色々なハラスメントがあるので、是非ハラスメント講習を実施するとよい。＜柔道整復＞ ・ハラスメントやコンプライアンスに関する通報・相談窓口は有るのか。無ければ設けるべきと思われる。＜救急救命公務員＞ ・特に問題ないかと思われる。現代に沿った内容に切り替えており非常に良いと感じた。＜理学療法＞ ・ITリテラシーのテスト内容を見てみたい。社会人になって必要だし、私もふくめてITリテラシーが低い社会人は多いので、企業も取り入れていきたい。＜薬業＞ ・ハラスメント。今は少しのことでも今はハラスメントになるので、取り組みをされているのですばらしい。＜薬業＞ ・指摘事項、質問事項は特に見当たりません。＜作業療法＞ ・教育機関としての社会的責任を果たしつつ、誠実で透明性の高い運営が継続されることを期待する。＜看護＞ ・先生方が100名となると色々あると思うが生徒の学校生活は2～4年なので、コンプライアンス遵守の取組みを今後もお願いしたい。＜保護者＞ ・ハラスメント勉強会の実施は、とてもすばらしいと思う。＜卒業生＞ ・学生から教員に対してのいやがらせとかないのか気になる。＜卒業生＞ ・コンプライアンス委員会の設置、個人情報管理体制がなされている。＜スポーツ＞ ・学校関係者評価を実施している。＜スポーツ＞ ・先にも記載したが、大学生のコンプライアンス事案が多数発生しているので、教育をお願いする。＜スポマネ＞ ・法令遵守については、様々きちんと情報公開がされており適切だと思う。＜歯科＞ ・健全に学校運営がなされていると強く感じた。私は歯科医院を開業して40年以上経つが、スタッフの雇用については昔と様変わりしており、やはり離職率も上がっている。18歳人口が減少していく未来について、退学率や入学者数を維持することの方が難しいのかなと思う。この委員会は、前向きに改善していく場として大変貴重な場であると思う。＜歯科＞
10 社会貢献	1. 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 2. 国際交流に取り組んでいるか 3. 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	1. 本校では例年、業界団体や企業、行政、高等学校等の教育機関、地域等とタイアップして行うスポーツイベント、障害者支援イベント、市民イベント、救護活動、救命講習、公園清掃、中学や高校での特別講義やスクールトレーナー活動など様々な取組を実施している。 また、滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動を通して、節電、冷房28度・暖房20度設定、階段利用促進（2アップ3ダウン）、ゴミ削減、資源有効利用などの取組を実施している。 産学連携教育というコンセプトの下、日々の授業や実習等がそのまま社会貢献につながるような企画を増やし、社会・地域と学校・学生が、win-winの関係になるよう努めている。 福岡市や博多区などの行政と連携し、地域からの要望に応えることができる学科も出てきた。今後は他学科にも広げ学校全体として、産学連携に加え、官学連携による社会貢献活動の促進に努めていく。 2. 国際交流や留学生支援を包括的に実施する機関として国際交流COMがあり、留学生支援を始めとして国際交流にあたっている。滋慶学園福岡各校にも、様々な国から留学生が入学しており、国を超えた交流イベントも積極的に実施している。 3つの教育理念の一つに国際教育を掲げており、在学中から海外の文化に触れる機会を設け、十分な語学力や国際的な視野を養い、これからの社会や産業界をけん引できるグローバルな人材を育てている。 スポーツマネージメントテクノロジー科では、1期生が2024年4月からのオーストラリア海外語学留学を終え多くの学びと大きな成果を得た。 3. 学生の社会貢献並びにキャリア教育の一環として、学生のボランティア活動を奨励・支援している。学科によっては、単位認定条件を定め、ボランティア活動に参加した学生に対し、一定の基準を満たす者には特別単位を認定している。 学校に届くボランティア依頼については、学内掲示に加えTEAMSなどを利用して学生全員が確認できるように体制を整え、興味がある学生が積極的にボランティア活動に参加できるよう取り組んでいる。 2024年度においては、できうる範囲で可能な限りの社会貢献活動は実施したが、まだまだ不十分と言える。今後さらに強化を図りたいと考えている。	＜2024年度に実施した主な社会貢献活動＞ ①福岡マラソン車いす協議部門支援プロジェクト ②福岡城さくらまつり・人力車プロジェクト ③御供所公民館認知症カフェプロジェクト ④博多ライトアップワーク ⑤子ども食堂 ⑥高等学校教諭・生徒対象救命講習 ⑦各種団体とタイアップして行うイベント支援 その他	4	・今後も学生に様々な経験を積めるチャンスを与えていただきたい。＜高等学校＞ ・様々な地域貢献をしていると思う。もう少し、目に見える取組ができないか期待する。＜地域＞ ・国際交流は、風習や民族意識等により、意思疎通が難しい場合もある。じっくり落ち着いて進めていけばよい。国内における社会貢献活動は今後とも推進してほしい。＜鍼灸＞ ・今後も各種ボランティアや救護活動にて生徒の人間としての質の向上に努めてほしい。＜柔道整復＞ ・地域との共存は、長く教育を続けるために必要なことと思う。そのための取組みが実施されている。継続されたい。＜救急救命公務員＞ ・社会貢献、ボランティア活動など多く実施しており、地域に向けた取り組みは素晴らしいと感じる。継続して取り組んで頂きたい。＜理学療法＞ ・認知症カフェしたり、介護施設もあるので、社会貢献になると思うので、ぜひ弊社でもボランティア活動がある場合はチラシを送る。＜薬業＞ ・ゴミのポイ捨てをする学生さんがいたとすると、このような取り組みで考えが変わっていくと思う。＜薬業＞ ・障がいをお持ちの方や、ご高齢の方でも城内を散策が可能な人力車プロジェクトを学生が一端を担っていると聞いた。大変素晴らしい社会貢献であると思う。＜作業療法＞ ・社会貢献活動そのものを教育に組み込み、学生の公共性や職業的使命感を育む視点を強めていくことも重要。＜看護＞ ・今からの取組みなのかなと思う。＜保護者＞ ・今後もボランティア活動を増やしていくのか。＜卒業生＞ ・①福岡マラソン車いす協議部門支援プロジェクト→すばらしい＜卒業生＞ ・⑤子ども食堂→すばらしい＜卒業生＞ ・ボランティア活動増やしていくためには、学校理念浸透が教員学生共に必須になってくると考える→学生リクルートにつなげられる成果を出して頂きたい。＜卒業生＞ ・ゴミひろいやイベントの手伝いをよくされている。＜スポーツ＞ ・様々なボランティアが単位につながる仕組みづくりをお願いしたい。＜スポーツ＞ ・活動状況は良くわからないので充分なものはわからない。取り組まれていることは理解できるので、ボランティアの意識、ボランティアの喜びも教育して欲しい。＜スポマネ＞ ・イベントやボランティアに積極的に取り組んでいるので、とても良いと思う。＜歯科＞ ・清掃実施中は、福岡医健とわかるようなものを身に付けているのか。＜卒業生＞ ⇒＜河口教務部長＞実施は学科単位で毎回オレンジ色の学校名の入ったビブスを着用して実施している。